

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%

保護者様： 31名回答、回答率 81.5%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・スペースを区切ることで、お子様にとって分かりやすい環境となるよう意識している。
- ・発達支援室内に窓がないため、空き時間に扇風機を回す等して環境を整えていきたい。

○業務改善

- ・定期的に研修を行っており、職員のスキルアップを図っている。
- ・現状、当事業所では第三者評価を実施していないが、法人内で環境整備面や法令について確認していただく事で業務改善に努めている。

○適切な支援の提供

- ・毎日ミーティングをしており、お子様1人ひとりに対して支援内容を共有、検討を行っている。また、必要に応じてミーティング以外の場でも情報共有をしている。
- ・様々な経験ができるよう、支援プログラムの立案をしている。

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者の希望や必要に応じて、保育園・幼稚園・他事業所との連携を図っている。積極的に連携を図り、支援に活かしていけると良い。

○保護者への説明責任等

- ・契約前に個別の説明会の実施、契約の際も丁寧に説明を行っている。
- ・支援終わりにフィードバックの時間を設ける事で、その日の様子をお伝えできている。また、カメラも設置している為、様子を見て頂くことができている。
- ・保護者の方から相談があった際には、助言をしたり家庭でできる対応についてもお伝えをするよう心がけている。また、相談しやすいようアンケートフォームを設置している。
- ・ブログについては、不定期更新のため更新頻度を上げられると良い。

○非常時等の対応

- ・各種マニュアルが整備されており、定期的に必要な訓練を実施しているが、保護者の方への周知は不十分であるため周知方法については検討が必要。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・環境・体制整備に関して、すべての項目で9割以上の方から良い評価をいただいた。
- ・特別開室や制作活動などの人が多く集まる際は少し狭く感じるといったご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・適切な支援の提供について、すべての項目で9割以上の方から良い評価をいただいた。また、「同じような内容を繰り返し取り組むことがあり、良いのか悪いのかよく分からない。」「小学校へ上がる道筋をより具体的に知りたい。」といったご意見もいただいた。
- ・地域の他の子どもと活動する機会はないが、保育園や幼稚園に通っているため特別求めているといったご意見をいただいた。

○保護者への説明等

- ・事業所を利用する前の丁寧な説明、支援計画を示しながらの支援内容の説明については、回答いただいた全ての方に良い評価をいただいた。
- ・保護者会については、年度の上旬に実施をしたため、下旬に利用を開始された方を中心に「父母会の有無がわからない」といった回答をいただいた。

○非常時等の対応

- ・非常時のマニュアルについては、法令に基づき各種整備をしており、避難訓練を月に1回実施しているが、「わからない」といった回答が4割あった。
- ・事故の発生の説明について、大きな事故が起こったことはないが、「支援中にモニターで様子が見れたり、フィードバックの際に細かく伝えていただけるので安心できている。」といったご意見をいただいた。

○満足度

- ・支援の満足度について、9割以上の方から支援に満足していると回答をいただいた。また「まだ慣れない様子がある」「頻度が高く親の会やイベントがあると嬉しい」「子どもの成長に繋がっていると思う」といったご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・ホームページのブログを活用し、日々の取り組み内容や家庭でも実践可能な取組についての情報を発信していく。
- ・保護者参加型のイベントや、保護者会の計画を経て、定期的にも実施をしていく。
- ・避難訓練について、月に1回・1枠のみの実施ではなく、複数の枠で避難訓練の時間を設けることで、参加していただく頻度を上げる。また、待合室に実施日および内容を掲示する事で周知できるようにする。
- ・お困りごとについて、アンケートフォームについて定期的にお伝えをしながら、相談しやすい環境を整える。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・ブログについては、数件更新ができたが件数が不十分なため、今後も継続して更新していく。
- ・保護者会について今年度から実施をしている。保護者からの要望として、もう少し回数を増やして欲しいとの声があったため頻度について検討する。
- ・小集団の活動として、避難訓練を定期的に取り入れることができたが、保護者への周知が不足しているため訓練として実施したことを改めて伝えていく。
- ・アンケートフォームに限らず、メールなどでも相談を受けている。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

・毎日ミーティングを実施し、個別支援計画を元にした課題に沿った内容を実施していることで、支援の満足度が高い。また、毎回フィードバックの時間を作っていることで、情報伝達についても不満の声がない。

○改善点

・父母の会や保護者会について、希望があるため定期的を開催できるよう調整出来ると良い。
・ホームページやガイドラインの評価など発信している内容が保護者にうまく周知がされていない。ブログの更新頻度を上げて定期的に発信・周知できると良い。
・支援の内容について「このままでよいのか」不安というご意見や「就学への見通しが欲しい」といったご意見があったため、支援内容について何に繋がっていくのかなど具体的に伝えていけると良い。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

・ブログ等を活用し、定期的に情報発信をしていく。また、運用しているサイトについて周知していく。
・保護者同士の繋がりを希望する家庭に対して、勉強会や交流会、保護者会など繋がりの機会を定期的に設定する。
・マニュアルの存在、対応について周知方法を検討し、「わからない」内容が減り安心して利用していただけるよう改善する。

○1年間で取り組む具体策

・ホームページのブログの更新頻度を上げ、保護者の方へも周知することでスマートキッズとしての取り組みを知ってもらう。ブログ更新の担当を決めて、確実に更新ができるよう対応する。
・保護者参加型のイベントや保護者会について、年間の開催スケジュールを決め、定期的に行うことができるようにする。保護者が多く参加できる日程調整や、開催内容について検討していく。
・お困りごとやご意見についてお気軽に伝えていただけるよう、改めて家族支援加算やアンケートフォームについて、保護者待機室への貼りだしや周知を行う。